

福祉厚生常任委員会審査日程（オンライン）

開議日時：令和3年9月9日（木曜日）午前10時

場 所：議事堂大会議室（オンライン）

※議案質疑及び付託議案外質疑は、事前に文書で通告

1. 開議

2. 議案審査

議案番号	件 名	備 考
議案第51号	令和3年度取手市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	一括議題
議案第52号	令和3年度取手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案第53号	令和3年度取手市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
認定第3号	令和2年度取手市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	
認定第4号	令和2年度取手市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	
認定第5号	令和2年度取手市介護保険特別会計決算の認定について	

3. 付託議案外質疑

4. 市長提出議案の討論・採決

5. 令和3年第1回意見交換会時のご意見・ご要望について（委員のみ）

6. その他（委員のみ）

7. 散会

* 審査は議案番号順に行いますが、審査状況により変更となる場合があります。

* 今委員会の出席者は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から**通告のあった議案質疑・議案外質疑に関する原則副参事職以上のみ、かつ、自己の所管業務に関する部分に限ってのみの出席**をお願いします。

福祉厚生常任委員会
「付託議案」 質疑事前通告一覧表

令和3年第3回定例会

議案番号及び議案名	質疑順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
議案第51号 令和3年度取手市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	1	遠山智恵子 委 員	普通交付金について	1 増額の理由
議案第53号 令和3年度取手市介護保険特別会計補正予算（第1号）	1	遠山智恵子 委 員	基金について	1 今年度から保険料が値上げされたが、基金の見通しをはかれなかったのか
認定第3号 令和2年度取手市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	1	齋藤久代 委 員	P315 概要について	1 取手市の厳しい具体的な内容
			P316 繰越金について	1 取手市としての考えた方等をこれから検討するとの事だが、考え方の基準（視点）はどこに置くのか
			P323 特定健康診査等事業費について	1 受診件数（率）減少の原因分析 2 そこに市民への調査（アンケートなど）は含まれているとしたら報告を
	2	遠山智恵子 委 員	保険税納付状況について	1 加入世帯の状況 2 滞納状況
			軽減策について	1 減免世帯状況

認定第4号 令和2年度取手市後期 高齢者医療特別会計決 算の認定について	1	齋藤久代 委員長	P332～333 後期高齢者医療 事務に要する経費について	1 日帰り人間ドックから健康診査まで全て減になった理由 分析やアンケート等の分析があれば (国保と同じ理由であればなし)
	2	遠山智恵子 委員長	1 新規手続き(説明)について 2 納付状況(滞納含む)について	
認定第5号 令和2年度取手市介護 保険特別会計決算の認 定について	1	齋藤久代 委員長	P338～339 介護保険状況に ついて	1 要介護5(65歳以上のみで)の方がどのような状況にあ るか。特に居宅介護受給者数からの状況
			P341 認定調査等に要する経 費について	1 新規申請者数と認定者数の、数の差がある理由
	2	遠山智恵子 委員長	介護事業について	1 施設入所状況 2 利用者負担 3 施設の経営状況 4 従事者の状況

福祉厚生常任委員会
「付託議案外」 質疑事前通告一覧表

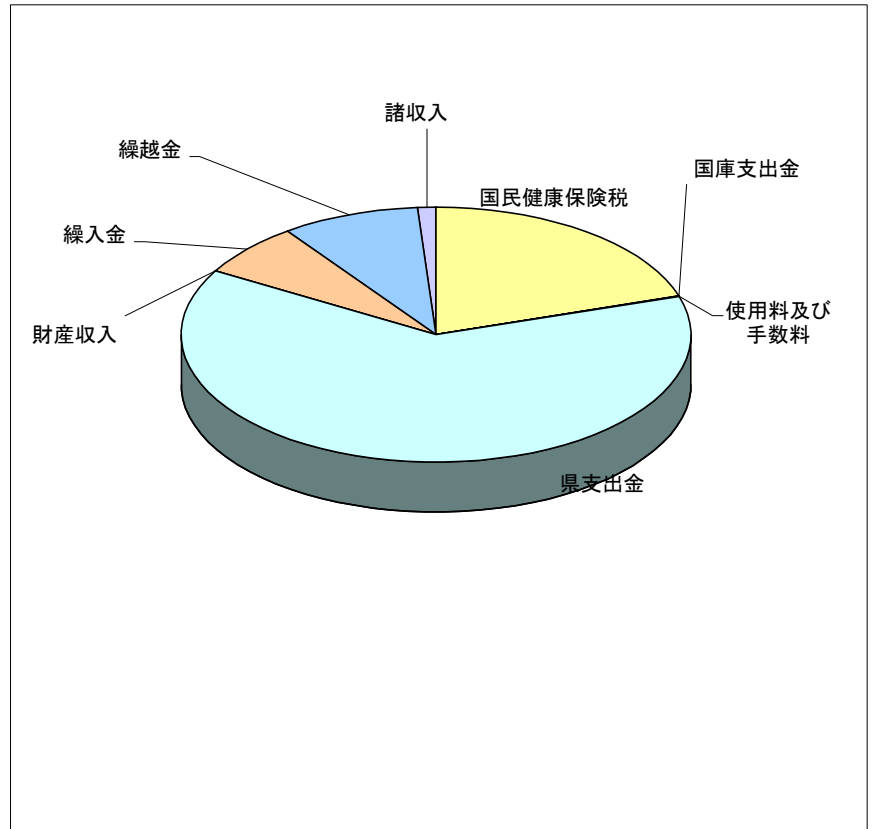
令和3年第3回定例会

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	齋藤久代 委員長	HPV ワクチンの今後とキャッチアップ接種の必要性について	<p>昨年10月と今年1月に国から対象者への情報提供に関する指示があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 取手市の対応と今後の予定 2 取手市の通知実施世代（おそらく高校1年生）における令和2年度の対象者数と接種者106人（決算報告書より）の接種率。通知未実施だった令和元年度の対象者数と接種者数8人（決算報告書より）の接種率 3 HPV 定期接種対象年齢を過ぎた市民への対応は。独自で費用負担の一部助成を実施している自治体もある
		高齢者のフレイル予防について	<p>コロナ禍中で、心配される高齢者フレイル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 取手市としての調査は（実態は） 2 今後の対応
2	久保田真澄 委員長	電子母子手帳アプリ「母子モ」の導入について	<ol style="list-style-type: none"> 1 予防接種スケジュール管理 2 子育て情報発信
3	細谷典男 委員長	生活保護について	<ol style="list-style-type: none"> 1 ケースワーカーの業務は多忙化していないか <ol style="list-style-type: none"> (1) ケースワーカーに新たな制度導入に伴う業務の発生、作業量の把握・配置換えなど適切になされたか (2) 一時的な繁忙か (3) ケースワーカーの多忙化が事務のミスにつながっていないか (4) 不正受給の見落とし、発見遅れへの対策 2 高額（約500万円）な不正受給の有無 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高額な不正受給の原因について、どのように発見したのか (2) 収入認定は適切であったか (3) 担当者の日常的な面談、家庭訪問、就労指導、保護費の支給などの業務は適切であったか 3 ケースワーカー側の不正な事務処理はなかったか
4	遠山智恵子 委員長	地域包括支援センターについて	<ol style="list-style-type: none"> 1 運営状況 2 次年度開設に向けた取組状況
		移送サービスについて	<ol style="list-style-type: none"> 1 市としての課題検証と解決策

令和2年度国民健康保険事業特別会計決算

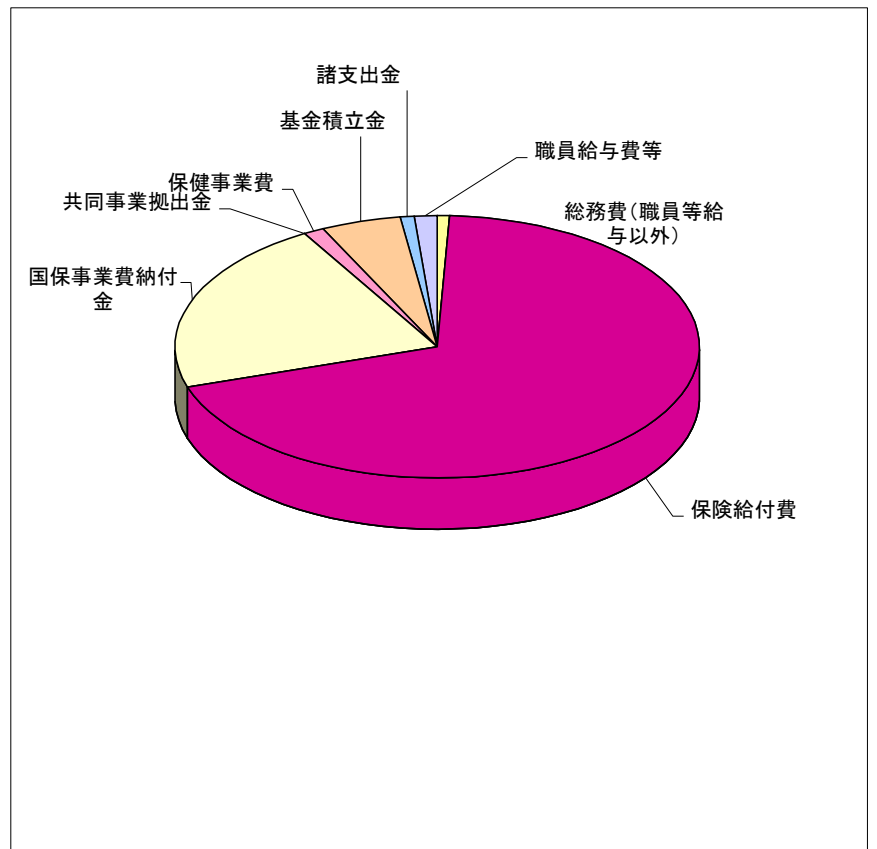
【歳入】

歳入	千円	割合
国民健康保険税	2,325,391	20.09%
使用料及び手数料	1,740	0.02%
国庫支出金	5,700	0.05%
県支出金	7,313,914	63.20%
財産収入	563	0.00%
繰入金	777,085	6.72%
繰越金	1,014,293	8.77%
諸収入	133,319	1.15%
合計	11,572,005	100.00%



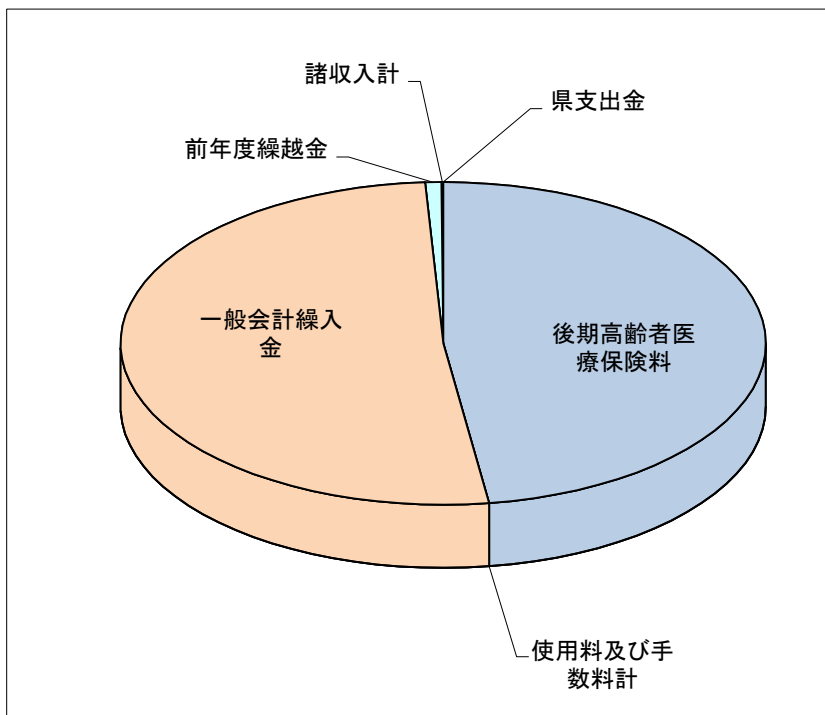
【歳出】

歳出	千円	割合
総務費（職員等給与以外）	77,860	0.77%
保険給付費	7,039,639	69.26%
国保事業費納付金	2,188,182	21.53%
共同事業拠出金	1	0.00%
保健事業費	128,948	1.27%
基金積立金	500,563	4.93%
諸支出金	85,178	0.84%
職員給与費等	143,172	1.41%
合計	10,163,543	100.00%



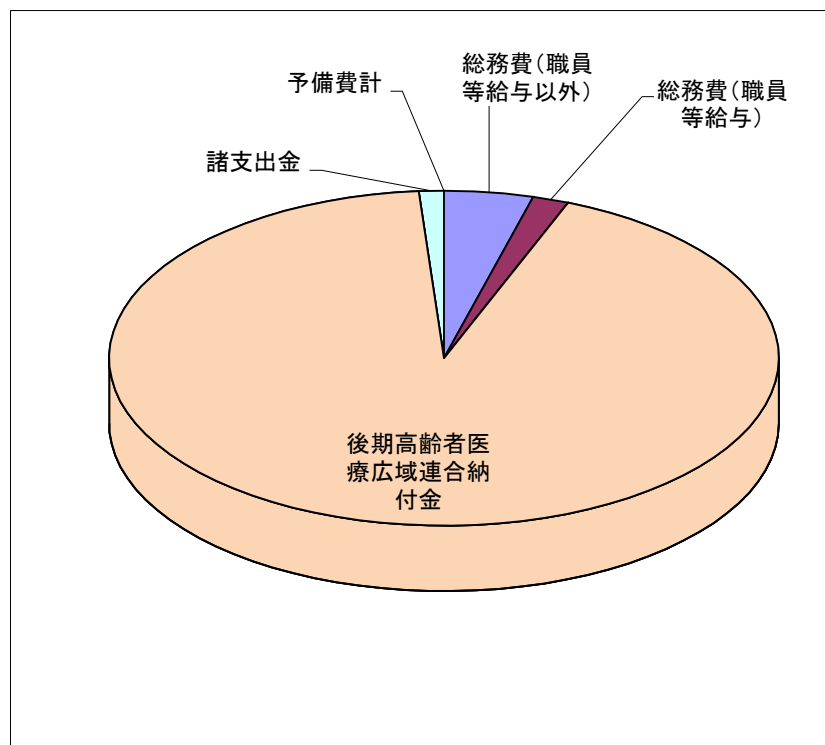
令和2年度後期高齢者医療特別会計決算【歳入】

歳入	千円	割合
後期高齢者医療保険料	1,487,672	47.72%
使用料及び手数料計	193	0.01%
一般会計繰入金	1,601,700	51.38%
前年度繰越金	24,942	0.80%
諸収入計	2,859	0.09%
県支出金		0.00%
合計	3,117,366	100.00%



【歳出】

歳出	千円	割合
総務費(職員等給与以外)	118,476	3.85%
総務費(職員等給与)	51,139	1.66%
後期高齢者医療広域連合納付金	2,881,653	93.62%
諸支出金	26,800	0.87%
予備費計	0	0.00%
合計	3,078,068	100.00%

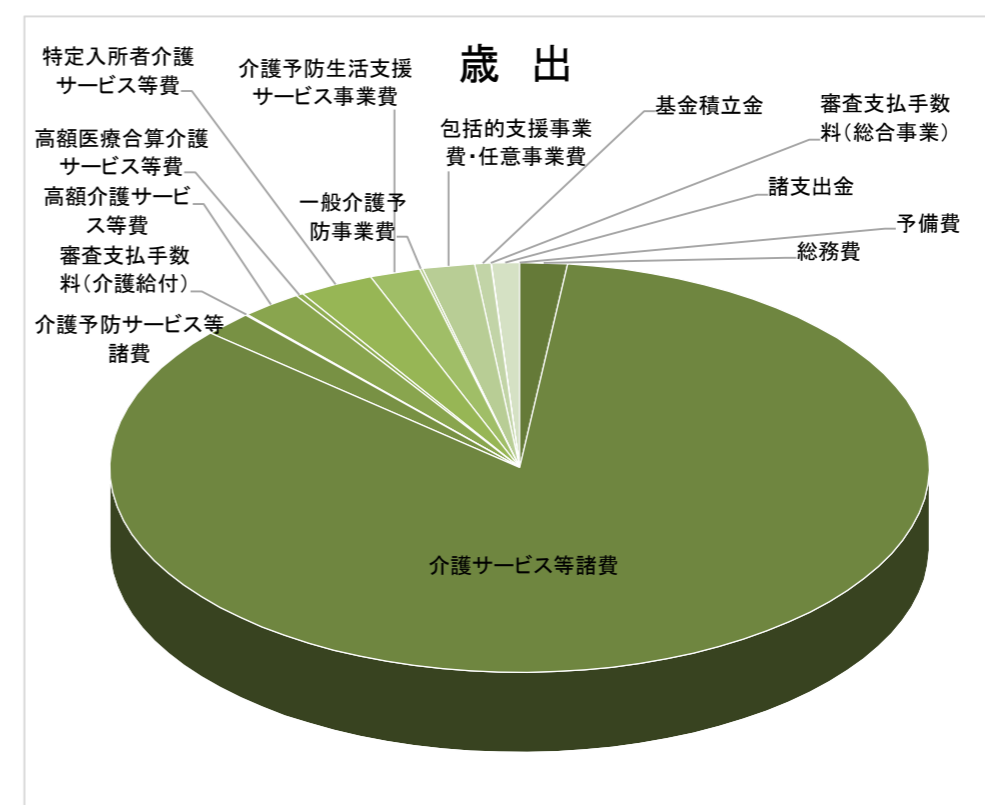
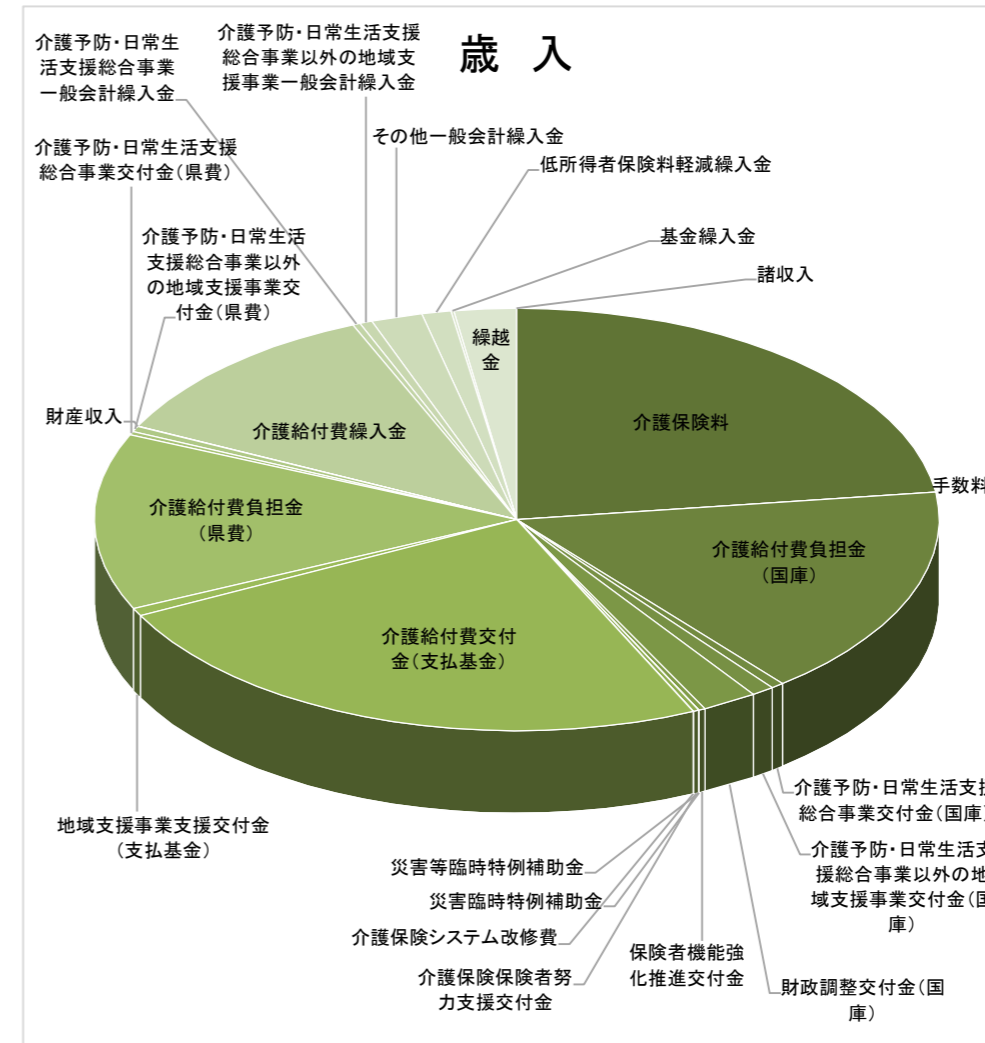


令和2年度介護保険特別会計決算

高齢福祉課

(単位：円)

歳 入		歳 出	
	決算額		決算額
介護保険料	1,981,414,220	総務費	156,264,713
手数料	278,350	介護サービス等諸費	7,066,972,819
介護給付費負担金(国庫)	1,403,081,470	介護予防サービス等諸費	162,412,531
介護予防・日常生活支援総合事業交付金(国庫)	42,056,400	審査支払手数料(介護給付)	6,961,695
介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金(国庫)	76,132,980	高額介護サービス等費	199,721,757
財政調整交付金(国庫)	181,592,000	高額医療合算介護サービス等費	24,799,723
保険者機能強化推進交付金	22,524,000	特定入所者介護サービス等費	247,099,233
災害臨時特例補助金	63,000	介護予防生活支援サービス事業費	167,127,466
災害等臨時特例補助金	1,517,000	一般介護予防事業費	9,855,334
介護保険保険者努力支援交付金	18,810,000	包括的支援事業費・任意事業費	172,841,168
介護保険システム改修費	495,000	基金積立金	53,263,986
介護給付費交付金(支払基金)	2,102,962,213	審査支払手数料(総合事業)	621,243
地域支援事業支援交付金(支払基金)	50,702,000	諸支出金	92,142,337
介護給付費負担金(県費)	1,166,215,620	予備費	0
介護予防・日常生活支援総合事業交付金(県費)	23,473,375		
介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業交付金(県費)	38,066,489		
財産収入	183,986		
介護給付費繰入金	982,284,000		
介護予防・日常生活支援総合事業一般会計繰入金	26,029,000		
介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業一般会計繰入金	40,537,000		
其他一般会計繰入金	170,355,000		
低所得者保険料軽減繰入金	97,116,920		
基金繰入金	8,973,000		
繰越金	204,828,983		
諸収入	839,433		
合 計	8,640,531,439	合 計	8,360,084,005
歳入歳出差引残額	280,447,434		

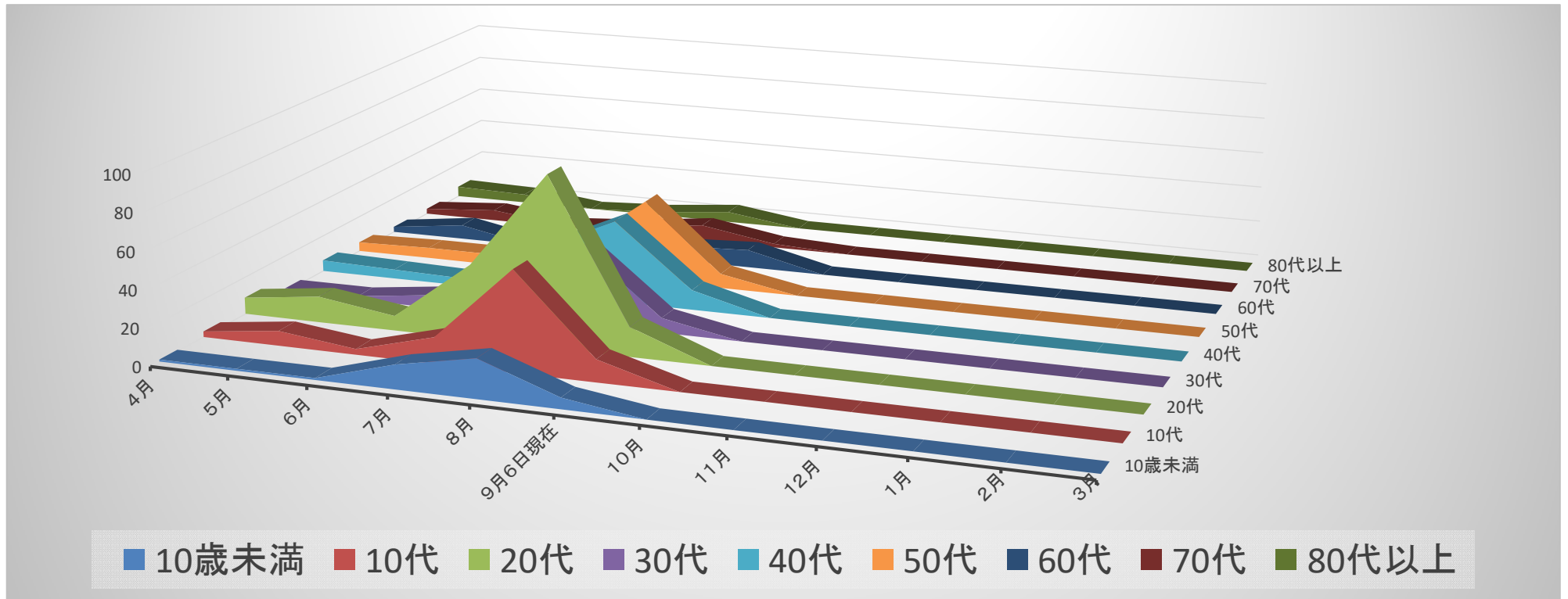


【福祉厚生常任委員会】 令和3年第1回市民との意見交換会（要望・意見）

	要望・意見	回答
1	<p>シニアのスマホ保有率は7割。しかし、使用しているのはほとんど電話機能のみ。スマホは電話ではなく情報収集ツールであるという認識に変わる必要がある。Zoomに興味のある人は潜在的にいますと感じている。</p> <p>高齢者の孤立化防止に、どのようにオンラインを活用するか検討を。今後も推進を。</p>	<p>スマホの活用は、高齢者の孤立化防止の一助になり得ると考えております。情報収集ツールとして扱うことができるようにするための知識を得る場・チャレンジする場については、市や企業、地域が、それぞれ設けています。</p> <p>孤立化防止の取組の一例として、新型コロナウイルス感染症で直接的な接触を控えざるを得ない問題を解消するために、市民ボランティア団体「憩い・オンライン」が令和2年に市内に発足したことが挙げられます。今後、高齢者を含む市民・ボランティア団体のオンライン利用推進について活動する予定です。</p> <p>また、2020年閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」に示された「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」という構想を実現するために策定された「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」に基づき、高齢者のデジタルデバイド解消に向けた様々な取組を行う予定とのことですので、市議会としても今後の取組を注視してまいりたいと考えます。</p>

令和3年度 コロナウィルス市内陽性者数 年代別の推移(9月6日まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月6日 現在	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10歳未満	1	1	1	13	21	6							43
10代	3	8	3	14	54	12							94
20代	9	14	8	40	92	16							179
30代	2	2	7	20	42	8							81
40代	6	5	4	26	45	11							97
50代	5	6	6	14	45	8							84
60代	3	8	0	13	8	10							42
70代	3	6	1	4	9	2							25
80代以上	6	5	0	2	6	0							19
計	38	55	30	146	322	73	0	0	0	0	0	0	664



令和3年度 年代別陽性者割合(%)の推移(9月6日まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9/6まで	平均
10歳未満	2.6	1.8	3.3	8.9	6.5	8.2	5.2
10代	7.9	14.5	10.0	9.6	16.8	16.4	12.5
20代	23.7	25.5	26.7	27.4	28.6	21.9	25.6
30代	5.3	3.6	23.3	13.7	13.0	11.0	11.7
40代	15.8	9.1	13.3	17.8	14.0	15.1	14.2
50代	13.2	10.9	20.0	9.6	14.0	11.0	13.1
60代	7.9	14.5	0.0	8.9	2.5	13.7	7.9
70代	7.9	10.9	3.3	2.7	2.8	2.7	5.1
80代以上	15.8	9.1	0.0	1.4	1.9	0.0	4.7
計	100	100	100	100	100	100	100

